

平成26年第1回羽村市議会（定例会） 一般質問通告項目一覧表

発言順	議席番号	議員氏名	質問項目	質問日
1人目	10番	小宮國暉 (60分)	<p><b>1. 羽村市土地開発公社を活用した公有財産の持続的な有効活用に向けて</b></p> <p>(1) これまで羽村市では羽村市土地開発公社を活用してどのような施設整備を図ってきたか。</p> <p>(2) 羽村市土地開発公社を活用するメリットをどのように考えているか。</p> <p>(3) 羽村市土地開発公社では現在どのくらいの土地を所有しているのか。また将来どのように活用する考えか。</p> <p>(4) 羽村市は約23万平方メートルの借地があり、今後は相続等に対応した安定的な土地利用が課題であるとの認識でいるが、羽村市土地開発公社の活用を含め市はどのような考えでこの課題に対応しようとしているか。</p> <p><b>2. 羽村堰周辺施設等の整備と桜並木保存に向けての取り組み</b></p> <p>(1) 羽村堰周辺の桜は現在50～60年を経過し、寿命といわれる樹齢に達する。以前にも質問したが、今後、桜並木の保存、維持にどのように取り組んでいくのか。</p> <p>(2) 以前より玉川1丁目付近、多摩川沿いにある土手上にある車道の危険性があると言われていた。そこで土手下の道路を延伸し整備することが課題となっているがその取り組み状況と、道路整備の具体的日程について伺う。</p> <p>(3) 特に桜祭りのときは、桜並木周辺に大勢の観光客が訪れる。現状では仮設トイレで間に合わせているが、福生側（堂橋付近）にしっかりとした公衆トイレの設置を望む声があると聞いている。飲食を伴った楽しい”お花見”をしていただくために、設置に向けた取り組みが必要であると思うがいかがか。</p> <p>(4) 羽村橋から羽村大橋の下に向けての道路（市道第7081号線）は大変狭く、車同士のすれ違いもできない状況である。この道路のセットバックを含む拡幅については、10年以上前からの懸案事項と聞いているが、その後の取り組みはどのようなになっているのか。</p> <p>(5) 堰下橋の耐震化を含めた改修は、どのような計画で進められ、完成はいつか。</p> <p><b>3. 子ども達の学力向上への取り組みについて</b></p> <p>(1) 小中一貫教育を進めることによって学力面の効果はどのようにあらわれてくると期待し、向上を目指しているのか。</p> <p>(2) 市内には理数フロンティア、言語能力育成、人権尊重教育推進といった、特定の学力の向上に重点をおいた学校がある。それぞれの取り組み内容と今後の計画は、どのようなになっているか。</p>	3月3日

2 人目

6 番

**大塚 あかね**  
(60 分)

(3) 学力向上には教員の指導力を高めることが不可欠となるが、そのための方策はどのように考えているか。

## 1. 働く女性が安心して子供を産める街の実現を！

(1) 市役所内の取り組みについて

- ① つわり休暇や通院等に配慮した勤務時間の変更など、妊娠・出産する職員への支援制度（母性健康管理制度）は活用されているか。
- ② 妊娠している職員が安心して働くことができる職場環境づくりはどのように作られているか。
  - a. 管理職前の職員研修、管理職研修などで妊娠・出産、育児休業の女性に対する接し方の心得などについて説明する機会は設けられているか。
  - b. 母性保護、育児支援などの相談窓口は設置されているのか。
  - c. マタニティ・ハラスメントに対する研修は予定されているか。

(2) 市内企業に対する広報・啓発について

- ① マタニティ・ハラスメントに関する広報・啓発など、行われているか。
- ② 職場における母性健康管理制度の普及・啓発についてどのように情報提供しているか。

(3) マタニティ・ハラスメントに関する市民や在勤者からの相談事例はあったか。

(4) マタニティ・ハラスメント対策について

- ① 「働く妊婦」に関する手引書やマニュアル、パンフレットの作成を検討してはいかがか。
- ② 羽村市男女共同参画基本計画に「マタニティ・ハラスメント」対策を入れていくべきではないか。

## 2. 高齢者の目線にたった街づくりを！

(1) 地域包括支援センターの認知度を上げる施策を望む。

- ① 元気なうちから地域包括支援センターや専門職の方の存在を知っておくことで、いざという時、相談しやすい環境をつくる必要があるが、市の考えは。
- ② 地域包括支援センターに住所等の情報を登録し、個人番号の入ったキーホルダー等を携帯することで、もしも本人が外出先で突然たおれ、救急搬送された場合など、住所・氏名等の確認が行えるようにするための仕組みを検討してはいかがか。

(2) 元気で安心して暮らせる支援の検討を。

- ① 日中独居高齢者も友愛訪問員の活動対象としてはいかがか。

3 月 3 日

3 人目

4 番

**富 永 訓 正**  
(60 分)

- ②緊急通報システムの設置を日中独居高齢者にも認めてはいかがか。
  - ③足腰が弱り歩くことができず、様々な行事や、活動に参加したくともできない高齢者も少なくない。現在用意されている支援策に新たな外出支援を加えることを考えているか。
  - (3) 高齢者が歩きやすい道路整備の検討を望む。
    - ①羽村駅に向かう市道第 6001 号線（一中通り）は歩道が狭く、段差もあり歩きづらいので、市道 1003 号線（青梅線通り）を歩いている高齢者の方が多い。途中で、休憩できるベンチの設置はできないのか。（案として、ペリカン公園近辺）
    - ②羽村駅西口から青梅線に乗車する方、また、農協を利用する方から歩行者専用の農協通路に到るまでの経路がわかりにくく、危険と言う声が多い。安全対策についてどのように考えているか。
- 3. 雪が与えた市内農業への被害と今後の対策について**
- (1)ハウスの倒壊、また、露地物野菜等への被害など今回の雪による被害の全容について伺う。
  - (2)被害を受けた生産者への公的救済措置は図られるのか。
  - (3)農産物直売所への入荷の影響と入荷が元に戻るまでの見通しについて。
  - (4)学校給食には「地場野菜」が取り入れられているが、今回の雪による影響と対策について伺う。
  - (5)雪害から市内農業、そして市民の台所を守るために行政として今後、どのような対策を取っていく考えか。

**1. 防災・減災へさらなる取り組みを**

- (1)防災力強化に向けた自助・共助への取り組みについて
  - ①市民自らの自助への取り組みへの意識向上への周知が、現状どのように図られ、現在までに、どの程度市民に理解され普及しているのか。
  - ②一人でも多くの方が実践的シミュレーション体験の機会が増えるような訓練の内容・形態に変えていくべきでは。
  - ③町内会・自治会に加入していない方を含め、PTA・青少対など多くの組織との連携で、世代を問わず、より多くの市民の方に参加していただく機会を増やす取り組みをどのように進めていくか。
- (2)今年度改定される「羽村市地域防災計画」について
  - ①パブリックコメント等にて市民からどのような意見があり、計画にどのように反映されたか。

3 月 3 日

- ②平成 24 年 12 月に防災に関する市民アンケートが実施され、昨年 3 月報告書がまとめられた。その結果から何が明らかになり、どのように計画に活かされたか。
  - ③富士山噴火に対して先日、静岡、山梨、神奈川県 3 県を対象に広域避難計画がまとまったが、市ではどのような影響があるか。また、首都圏への影響、健康被害も懸念されている。地域防災計画への反映を急ぐべきではないか。
  - ④市各部署における情報共有化、事務効率化・迅速化、適切な被災者支援のための被災者台帳（被災者支援システム）の整備を推進し計画への反映を急ぐべきではないか。
- (3) 学校における非構造部材の耐震化について
- ①今年度実施した避難所となる小中 10 校の体育館にて、それぞれの非構造部材における耐震診断をどのような方法で実施したか。
  - ②各校の耐震診断の結果を聞く。
  - ③どの学校を、どのような方法で、いつ対策を実施するか。
- (4) 橋梁における耐震化について
- ①「橋梁の長寿命化・耐震化計画」の策定状況を聞く。
  - ②市内 7 橋梁のうち、羽村堰下橋、羽村橋、堂橋の 3 橋の耐震補強が必要とされている。今後、どの橋梁を、どのような方法で、いつ対策を実施するか。
- ## 2. 羽村市消防団への支援について
- (1) 市は、消防団の役割をどのように考えているか。
- (2) 団員数の近年の変化と現状を聞く。
- (3) 団員確保について
- ①市では、課題をどのように捉え、今までにどのような取り組みをしてきたか。
  - ②消防庁では平成 26 年 1 月～3 月を「消防団員入団促進キャンペーン」期間としている。市での取り組みを聞く。
  - ③中・高生を含む希望者に、体験入団などの機会を設けてはどうか。
  - ④希望による定年の延長、OB の再登用、分団への女性団員の積極的な採用など検討してはどうか。
  - ⑤広く市内企業への広報や団員が在職する事業所への特典・優遇措置など検討してはどうか。
- (4) 「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の施行を受けて、市としての消防団への支援について聞く。
- ①処遇の改善と装備の拡充、訓練の充実を国が示した。市ではどのように取り組んでいくか。
  - ②分団車庫の機能強化を今後どのように図っていくか。

**1. ブラック企業から市民を守る対策を**

- (1)ブラック企業の実態と根絶について、どのような見解を持っているか。
- (2)市内企業におけるブラック企業の実態、市民が勤務する企業でのブラック企業の実態について、どう把握をしているか。対策は取られているか。
- (3)市役所、学校、委託事業所、一部事務組合など、市が関係する公的な仕事をおこなう職場では、ブラック企業の実態はないか。
- (4)精神疾患・障害、生活保護受給の理由にブラック企業の影響はどうあらわれているか。また、生活保護受給者への就業支援の中では、ブラック企業の問題について配慮されているか。
- (5)労働に関する相談活動はどのようにおこなわれているか。その件数と結果はどうか。充実が必要ではないか。
- (6)ブラック企業を根絶するために、労働法のセミナー、労働法遵守のキャンペーンなどが必要ではないか。
- (7)学校では労働法についてどのような学習がなされているか。キャリア教育の中では、どう位置づけられているか。

**2. イオン出店に向け交通安全対策を万全に**

- (1)イオンタウンの出店について、どのような情報が寄せられているか。
- (2)出店に向けた交通安全対策について、市はどのような考えを持っているか。具体的な検討・対策は始まっているか。
- (3)交差点の対策について
  - ①産業道路・信号「羽村街道」の対策をどう考えているか。矢印付き信号設置等の対策が必要ではないか。
  - ②産業道路・信号「神明台二」の対策をどう考えているか。矢印付き信号設置等の対策が必要ではないか。
  - ③市役所通り・信号「神明台交番前」の対策をどう考えているか。矢印付き信号設置等の対策が必要ではないか。
  - ④市役所通り・信号「神明台一」の対策をどう考えているか。矢印付き信号設置等の対策が必要ではないか。
- (4)狭い道路の対策について
  - ①川崎街道の対策をどう考えているか。拡幅、歩道の設置などが必要ではないか。
  - ②羽村東部踏切周辺の対策をどう考えているか。拡幅、信号設置、歩道の拡幅・設置などが必要ではないか。
  - ③レクセル羽村マークレジデンス、サンマンション羽村の前の通りの対策をどう考えているか。拡幅が必要ではないか。

5 人目

8 番

橋 本 弘 山  
(60 分)

- (5) 住宅地への車の侵入を抑える対策はどう取られるのか。  
(6) 自転車・歩行者の安全対策はどう取られるのか

3 月 3 日

## 1. 広域で取り組むべき課題・連携について

### (1) 近隣自治体との連携について

- ① 福生市が平成 29 年度稼働を予定している新学校給食センター建設について、老朽化した羽村・瑞穂地区学校給食センターとの共同運営は考えられないのか。  
② 玉川上水の起点の市として、関係周辺各市との連携により、四谷大木戸までの散策コースの充実を積極的に呼びかけていくべきと考えるがいかがか。  
③ 「昭島・福生・羽村観光推進協議会」の、今後の方向性について

### (2) 東京都との連携について

- ① 羽村市と東京都水道局による羽村堰の桜の維持・保全については、早急に進めていく課題と考えるがいかがか。

### (3) 市内各種団体との連携について

- ① NPO 法人市民パトロールセンターはむらと日野自動車株式会社羽村工場パトロール隊との連携はどう行われているのか。

- (4) その他、広域で取り組むべき課題・連携は考えられるか。

## 2. 大雪に対しての備えと対策について

### (1) 除雪の対応について

- ① 市民からの除雪の依頼はどの位あったか。  
② それらの依頼に対してどのように対応したか。  
③ 市独自の除雪関連重機等は備えているか。  
④ 市内建設業団体等との災害時の応援協定等は今回どのように執行されたか。  
⑤ 2 月 8 日の降り出しが土曜日で閉庁であったが、警報が出ている中で職員はどう対応したか。  
⑥ 2 月 14 日の降り出しは金曜日の平日であったが、警報が出ている中で職員はどう対応したか。  
⑦ 国道と都道の管理体制はどう行なわれているか。

### (2) コミュニティバスはむらんの運行について

- ① 大雪により、どの程度の影響があったのか。  
② 雪に弱い原因は何か。  
③ 今後の対策を考えているか。

- (3) 今回の羽村市内における大雪の被害状況を把握しているか。

### (4) 今後の取り組みについて

- ① 今回、地域防災計画が改定され、想定する風水害の中に大雪による雪害も含まれている。

6 人目

7 番

**西 川 美佐保**  
(60 分)

今後も地球温暖化による偏西風の流れの変化による大雪の可能性が考えられる。今回の教訓を生かした何らかの対策を講じる必要があると考えるがいかがか。

### 3. 東京都知事選挙の結果を受けて

- (1) 羽村市長として新都知事に望むことは何か。
- (2) 三多摩地区の各首長が主張する「三多摩格差」の具体的な事例はどんなことがあるのか。
- (3) それらの「三多摩格差」解消に向けて要望することは何か。
- (4) 東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて羽村市が取り組んでいく課題は何か。
- (5) 今後、様々な分野で東京都と一層の連携を図っていくべきと考えるがいかがか。

### 1. 地域包括ケアシステムについて

- (1) 羽村市の現在の高齢化率、一人暮らし高齢者、高齢者のみ夫婦世帯の人数と割合はどのくらいか。また 2025 年には、それぞれ何人で何%になると予測しているか。
- (2) 地域包括支援センターでの、特に多い相談内容と、課題は何か。また、今後の高齢化率の推移に対し、地域包括支援センターの役割・体制はどのように変化していくと考えるか。
- (3) 介護予防の取組みについて、現状と課題を伺う。
- (4) 認知症予防への取組みについて。
  - ① 認知症予防への取組みの現状と課題を伺う。
  - ② 国は複数の専門職による個別の訪問支援である「認知症初期集中支援チーム」や実態に応じた認知症施策を推進する「認知症地域支援推進委員」を設置するとしているが、市としても設置してはどうか。
- (5) 在宅医療を支える体制について、現状と課題を伺う。
- (6) 今後 1 人当りの介護・医療費情報等の「見える化」が必要であると考えますが、どうか。
- (7) 住み慣れた地域で最後まで住み続けることができるような、医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築をどう考えているのか。

### 2. まちの活性化と新たな産業振興を

- (1) 産業振興の計画のあり方について
  - ① 平成 15 年に作成された計画「ランドデザイン」の現状はどうなっているか。
  - ② 産業振興計画は、どのように実効性のある取組みを行おうと考えているのか。
  - ③ 昨年 7 月に羽村市・羽村市商工会・西武信用金庫と共に「羽村地域産業振興懇談会」を設立したが、これまでの取組みと今後の展開について伺う。

3 月 4 日

7 人目

16 番

船 木 良 教  
(60 分)

(2) 商業の活性化について

- ① 商業施設と商店が共存共栄できる取組みを、どのように推進していくのか。
- ② 子育て応援の施策としては、本年 3 月に実施予定の「羽村にぎわい商品券事業」では各店舗からどのような提案があったか。また、「赤ちゃん休憩室」につながるミルクやおむつ替えの場所を提供する事業所はどのくらいあったのか。
- ③ 市民の健康づくりとまちの活性化を兼ねた「健康マイレージ」で、健診やボランティア参加等でポイントがつき、一定のポイントが溜まると商店の特典が利用できるシステムづくりを行ってはどうか。

(3) 観光の活性化について

- ① 市のロケーションはうまくマッチングできているのか。
- ② 公共施設や動物公園、工業地域などさらに市外に売り込みを。
- ③ 羽村市出身の歌手やはむりん等を活用し、市の観光、産業、商店などを PR するダンス付 DVD を作成し、ホームページや SNS 等で全国に発信を。

**3. 寝たきり予防のための「ロコモ」対策の推進を**

- (1) 骨や関節、筋肉などが衰え、寝たきりや介護が必要となる「ロコモティブシンドローム（ロコモ）」の知名度を上げ、その予防の取組みを、今後どのように推進するのか伺う。

**1. 小作台 5 丁目市営住宅跡地の暫定整備に関して**

- (1) 暫定整備と今後の管理運営に関する概要について

- ① その後の進捗状況はどうか。
- ② 近隣の町内会や関係団体への説明会等は考えているのか。
- ③ 施設整備の日程と予算や規模について
- ④ 施設名はどう考えているか。
- ⑤ 施設の運営や管理についてはどうか。
- ⑥ 施設使用料についてはどう考えているのか。

**2. 公共施設の劣化と再生に関する、検証と行政体制の整備**

- (1) 公共施設の再生計画

- ① 検討プロジェクトの名称やスローガンはどう考えているか。
- ② 検討プロセス（過程、方法、手順等）はどうか。
- ③ 「公共資産の有効活用」に対する基本コンセプト（全体の基本的概念など）はどう考えるか。
- ④ 長期総合計画との整合性やプロジェクトの位置づけはどうか。

3 月 4 日



8人目

11番

**馳 平 耕 三**  
(60分)

- (2) 公共施設の更新問題への取り組み
- ① 全庁的に取り組むプロジェクトの問題点は何か。
  - ② 市民意識調査や市民との関係はどうか。
  - ③ 更新問題に関する情報の一元化はどうか。
  - ④ 公有資産改革には羽村市公共施設白書の作成が必須と考えるがいかがか。
  - ⑤ 学識研究者やコンサルタント等の参画はどうか。
  - ⑥ 土地代や人件費等予算の捻出はどう考えているか。
- (3) 公有資産改革を推進するためのプロジェクトについて
- ① プロジェクトの「スローガン」はどう考えているか。
  - ② プロジェクトチームの運用や規則・構造などの枠組（フレームワーク）はどう考えているか。
  - ③ 改革モデルとしての他市の事例等はどうか。
- (4) 問題は分権時代の基礎自治体としての体制整備をどうするか。
- ① 羽村市職員のマネジメント能力をどう強化するのか。
  - ② プロジェクトの一連の業務務計画を示す定義はどうか。
  - ③ 羽村市では「NPM」（ニューパブリックマネジメント）の理念やスローガンをどう捉えているか。

**1. 安倍内閣の地方分権、教育改革を市長はどう評価するか**

- (1) 安倍内閣では道州制導入に向けた議論が始まっていて、自民党は先の衆議院選挙で、5年以内に実施を目指すとしているが、道州制導入の是非を市長はどう考えているか。
- (2) 一括交付金の廃止をどう評価しているか。
- (3) 国の出先機関を地方に移譲する改革が見直しされ、ハローワークについては求人情報をオンラインで提供するにとどまったが、市長はどう評価しているか。
- (4) 地方交付税を削減することを人質として、安倍内閣は地方に対して、公務員の給与削減を求めているが、市長は、こうした安倍内閣の方針をどう考えているか。
- (5) 安倍内閣で進められている教育改革では、教育長と教育委員長を兼務するポストを創設する法案が提出されようとしている。これまで、政治的中立を目指してきた地方の教育制度にとって大きな影響があると考えますが、市長はどう考えているか。

3月4日

(6)安倍内閣では、道徳の授業を教科化し、点数化を目指している。こうした動きについて市長はどう考えているか。

## 2. モノレールは羽村に來ないことを前提にまちづくりを考えるべき

(1)議会では、多摩都市モノレールと意見交換し、委員の誰もが、多摩都市モノレールの羽村への延伸は厳しいと感じたが、市は、多摩都市モノレールや東京都と、どう意見交換をし、延伸の可能性についてどう考えているか。

(2)羽村駅西口の区画整理事業について、モノレールが來ないのであれば、計画案にあるような広い道路は必要ないと考えるが市の考えは。また、住民の負担を少しでも減らせることができるように、モノレールが來ないことを前提にした、まちづくりにすべきと考えるが、市長の考えを問う。

## 3. 羽村市弓道場のありかたを問う

(1)弓道場が建設されて、その利用者はこの10年でどう変化したか。

(2)弓道場の収支は、土地の借り上げ料も含め現状はどうか。

(3)小作台小学校では弓道部ができるなど、教育の場でも弓道場を使用する取り組みもはじまっているが、教育の場で、さらなる普及を考える方策はないか。

(4)市民の中でも、弓道を体験したいと考えている人は多い。市長が先頭となって、そうした市民を巻き込むような、弓道の普及に向けて大胆な企画を考えていないか。

(5)弓道場の土地については、その建設の時から、何度も質問を重ねてきた。当時は、羽村市は、当時道路公団と、無償で借り上げることを口約束で合意しているという説明を受けていたが、その後、どういう経緯をたどり、現状はどうか。

9人目

3番

中 嶋 勝  
(60分)

## 1. 公共施設の改築・改修にPFI方式を

(1)市の公共施設の老朽化が進んできているが、今後の改築や改修について伺う。

①公共施設数はいくつあるか。

②そのうち今後10年間で改築、改修が必要な施設数は。

③その費用はどれくらいか。

(2)財政改革の視点からも公共施設の改築、改修に民間の資金やノウハウを活用し、設計・建築・維持管理・運営等をする方式にPFIがあるが、

3月4日

市はこれらの方式についてどのような考えかを伺う。また、メリット・デメリットをどうとらえているか。

- (3) 今後 10 年間で改築、改修する施設にこの方式を採用できないか。
  - ① 市の財政負担 0 も可能という家賃収入がある市営住宅等においては。
  - ② 収入等に関係のない公共施設においては。
  - ③ 道路や上下水道等のインフラ設備においては。
- (4) まだ広く知られていない P F I 方式である。その他にも民間資金を活用する方式も含め、まずは市内にプロジェクトチームを立ち上げ、勉強会や研修会を開催してはどうか。
- (5) 中長期的な視点から公共施設の維持管理について
  - ① 改築・改修だけでなく統廃合の考えはあるか。
  - ② 民間施設との合築や民間施設内への入所の考えはあるか。
  - ③ 広域的連携も鑑み、隣接する自治体との共有施設の考えはあるか。
  - ④ これらに対しても P F I 方式の採用を望むがいかがか。

## 2. 生活困窮者対策と雇用について

- (1) 低所得及び生活に困窮している人の近年の動向と市の認識を伺う。
- (2) 新たなセーフティーネットである自立への支援を行う生活困窮者自立支援法。平成 26 年度中に施行へ向けた準備が必要だが、生活困窮者の自立に向けての支援事業にはどのようなものがあるか。またその内、就労支援に関する事業を市はどう計画しているか。
- (3) これまでも生活保護受給者に対し、就労支援員やケースワーカーによる就労へ向けての支援をしているが、現状と今後の対応について伺う。
- (4) ハローワークや東京しごとセンター等との連携について、特に若年者、高齢者、女性の働く意欲を持った人への雇用に関する対策はどうなっているか。
- (5) 自立支援には多岐にわたる部署、および機関との包括的な連携が必要である。相談から雇用へとつながるよう体制の整備充実を望むが、
  - ① 関係機関と話し合う地域雇用問題連絡会での協議は、どのような内容だったか。
  - ② 社会福祉課、高齢福祉介護課、産業課、子育て支援課が就労支援に対しそれぞれの対応をしているが、連携はどうか。今後、統一した雇用相談窓口が必要ではないか。
- (6) 消費税が 8% に上がるのに伴い、低所得者対策として簡素な給付措置、いわゆる臨時福祉給付金が支給される。非課税者が対象になるが、支給漏れが生じないよう事務の流れや広報・周知はどのように行なっていくのかを伺う。

**1. 新たな特別支援教育の未来展望は**

- (1) 固定学級と言われている特別支援学級の児童生徒人数、それ以外で特別に支援が必要と思われる児童生徒の人数推移はどのように変化しているのか。
- (2) 3年間の東京都の特別支援教室モデル事業にこれまで2年間取り組んできたことについて。
  - ①これまでの成果と課題の主なものについて聞く。
    - (ア)各学校の支援体制はどう図られてきたのか。
    - (イ)市内の支援環境の整備についてはどこまで整ってきたか。
    - (ウ)教員の意識啓発と資質向上についての成果と課題は何か。
  - ②26年度、27年度、28年度とどのような展望を描いているのか。
  - ③東京都は平成22年11月に特別支援教育推進計画の第三次実施計画を発表している。その中で区市町村における特別支援教育推進体制の整備について、「重層的な支援体制」整備の考え方を示した。この新たな三層構造体制を踏まえ特別支援教室モデル事業を実施してきた羽村市として、どのような未来展望を描いているか。
- (3)羽村市の特別支援教育における通級指導学級の役割をどう捉え評価しているか。
- (4)文部科学省が示してきたインクルーシブ教育システムを、羽村市でも来年度から導入することについて。
  - ①まだ一般的に馴染みのない、インクルーシブ教育システムとはどのようなものか。
  - ②これまで進めてきた特別支援教育との関係性は。
  - ③羽村市が目指すインクルーシブ教育システムとはどのようなものか。
  - ④教員や特別支援教育に関わる人、また保護者や地域にどう周知していくのか。
  - ⑤文部科学省は平成26年度において、特別支援教育関係事業を募集しているが、羽村市はこれに応募したのか。したとすれば、どのようなメニューを選択したのか。
- (5)特別支援教育の目指すべき方向は、個の適性と発達段階に応じた適切な支援体制を構築していくことにある。そのための施策をどのように進めようとしているのか。

**2. 小中学校の楽器購入と管理について**

- (1)楽器の保守点検の実施時期、実施回数、実施方法について聞く。
- (2)年間の楽器購入費と修理費の金額はいくらか。
- (3)学校の楽器充実に立川市などは、購入しないで、リース契約をしていると聞いている。このリース方式のメリットとデメリットをどのように認識しているか。

11 人目

17 番

**門 間 淑 子**  
(60 分)

- (4) メリットが大きいのであれば、羽村市でもこの楽器リース方式を導入して、同じ予算でも有効に運用していけないのではないか。
- (5) 保守管理を民間委託して楽器を一括管理して効率的な楽器活用を目指しては。
- (6) 楽器を大切に使用・管理する上での置き場所に苦慮している学校がある。楽器等を整理できる棚を、楽器があふれている学校に整えていく考えはあるか。

#### 1. 共通番号制度の準備状況について

##### (1) 羽村市の準備状況について

- ① 平成 25 年度は、どのような準備体制を成したか、その予算額はどれほどか。
- ② 平成 26 年度はどのような準備を進めるのか、その予算額はどれほどか。
- ③ 個人番号は、いつ、どのように付番されるのか。
- ④ 個人番号カードの交付年月日は決まっているのか。

##### (2) 共通番号制度の周知について

- ① 市民、法人への周知は、それぞれ、いつ頃どのようになされるのか。
- ② 制度やカードへの疑問には、どのように対応するのか。

##### (3) プライバシー保護対策は、どのように進められるのか。

##### (4) 関連条例の改正は、いつ予定されているか。

#### 2. 西口区画整理事業は抜本の見直しを

- (1) 工事全体計画・建物移転計画の公表はいつか。
- (2) 平成 26 年度西口事業予算案に、消費税・労務単価の上昇は反映されているか。
- (3) 移転実施計画はどのようなものか。
- (4) 平成 27 年度策定の新たな計画は、期間延長と総事業費の増加が予想される。西口区画整理は見直し、人口減少時代の小規模修復型の新たなまちづくりを考えてはどうか。

3 月 5 日

12 人目

15 番

**水 野 義 裕**  
(60 分)

#### 1. ゆとろぎの催しなどについて

##### (1) ゆとろぎ協働事業運営市民の会について

- ① ここ 5 年間の会員数の推移はどうなっているか。
- ② その背景には何があると考えているか。
- ③ 会はボランティアが基本となっていると認識しているが、その点について会員から声はあるか。
- ④ 市民の会は、あくまでも自立した組織ではあるが、市はどのようなサポートをしようとしているか。

3 月 5 日

13 人目

2 番

**富 松 崇**  
(50 分)

(2) 催しについて

ここ 5 年間で、市が主催・共催した有料の催しについて

- ①それぞれの年の該当する催しの数は。
- ②有料入場者数が入場者数の半分以下だったものがいくつあるか。
- ③催しが開催決定されるまでに、これまでの集客傾向分析などを行っているか。
- ④チケットの販売や集客に、市はどのように関与しているか。

**2. 雪害対策について**

(1) 降雪について

- ①今回の降雪でどのような被害があったか、またそれらにどう対応したか。
- ②道路の除雪についてどのように対応したか。
- ③公共施設（駐車場含む）などの除雪についてはどうか。
- ④除雪の作法（マナー）について市民に周知しているか。

(2) 事前対策について

- ①積雪で危険な、高木や家屋などの把握や定期的な見回りや対処が必要ではないか。
- ②道路について、計画的に除雪する必要はないか。
- ③融雪剤の散布なども必要ではないか。
- ④除雪した雪の仮置き場なども設定してはどうか。

**3. 公共施設の運営・管理などについて**

(1) 鍵の管理について

- ①会館や学校施設の鍵はどのように管理しているか。
- ②個人に委託しているケースはどれくらいあるか。
- ③これまでにどのようなトラブルがあったか。
- ④利用記録はどのように管理しているか。
- ⑤カード式の鍵システムの導入を検討してはどうか。

(2) バリアフリーについて

- ①会館などの小規模施設のバリアフリーはどこまで進んでいるか。
- ②建物の対応は済んでいても、建物の入り口までのアクセスがバリアフリーになっていない所があるが、把握しているか。把握していればその対策は。

**1. 行政や団体間のさらなる連携強化について**

- (1) 長期総合計画の基本理念にある「自立と連携」の連携とはどのように考えているか。
- (2) いろいろな団体に市は助成しているが、その目的は。
- (3) P T A ・ 青少年対策地区委員会 ・ 教育委員会 ・ 保育園や幼稚園の保護者会など、子どもに関係する団体間での連絡調整はどのように行われているか。

3 月 5 日

14 人目

13 番

**濱 中 俊 男**  
(55 分)

- (4) 商工会・商店会・観光協会などの団体間での連絡調整はどのように行われているか。
- (5) 庁内で保育課・学校教育課間での連絡調整はどのように行われているか。
- (6) 商工会・観光協会・産業課・広報広聴課間での連絡調整はどのように行われているか。
- (7) 市内のすべての団体が一堂に会した会議などは行われているか。
- (8) 団体間の協力・連携で現在行われているイベントの充実や魅力ある街になると考えるが市の考えは。
- (9) 商工会・町内会連合会・体育協会・文化協会・PTA連合会等の各種団体が参画した連絡協議会を立ち上げ、同じ意識を持ち情報の共有や協力・連携を図ることで魅力と活力のある街になっていくのではないかと考えるが市の考えは。

3 月 5 日

### 1. 東京国体と東京オリンピックについて

- (1) 昨年開催された国体・全国障害者スポーツ大会について
  - ① 全体を総括して、教訓となったものはあったものがあるか。
  - ② 経験を踏まえ、東京オリンピック・パラリンピックにおいて生かせるものはないか。
- (2) 東京オリンピック・パラリンピックに向けての市の準備は。
  - ① キャンプ地として、スポーツセンター等の市内施設を活用できないか。
  - ② オリンピック・パラリンピックを成功させる気運の醸成についてはどう考えているか。
  - ③ 市は国体開催に向けて、数年前より専門の部署を新設し、担当の職員を配置したが、東京オリンピック・パラリンピックに向けてはどう考えているか。

### 2. 大雪対策について

- (1) 今冬の積雪量は、当市においてはどの位だったのか。
  - ① 降雪のあった日にち、時間はどうであったか。
  - ② 日毎の積雪量は。また最大積雪量はどうか。
- (2) 大雪による被害はどの様なものがあつたか。
  - ① 市民で怪我をした方はいなかったか。
  - ② 羽村市所有の施設、道路等の被害は。
  - ③ 羽村市内の民間の住宅、事業所等の被害状況は。特に、倉庫や車庫、ビニールハウスはどうであったのか。
- (3) 大雪への対策について
  - ① 市内の国道、都道の除雪状況はどうだったのか。
  - ② 除雪に関し、市ではどの様な対策をとったか。
  - ③ 市民・市内事業所はどの様な対応をとったと承知しているか。

15 人目	1 番	<b>印 南 修 太</b> (45 分)	(4) 今後の対策についてどのようなものがあったか。 ① 市民からは、どのような要請が市に届いたか。 ② 市としての教訓は。また、今回の教訓を踏まえて、新しい対策はあるか。 ③ 大雪に関して羽村市地域防災計画等の計画の見直しは考えているか。  <b>1. 新たな協働による市民サービスの創出について</b> (1) 生涯学習センターゆとろぎの保育室について ① 25 年度の平均月間利用日数は何日か。 ② 夏期の利用されていない日を、市民サークルに解放できないか。 (2) テレビはむらについて ① テレビはむらと小中学校が連携し、教育活動の補助資料として動画共有サービスを始めてはどうか。(例 研究発表会など) ② 番組の中に、今月の赤ちゃんコーナーをつくってはどうか。 (例 保健センターで実施されている定期健診で、はむりんと一緒に撮影するなど) (3) 中学生ボランティアについて ① 現在、地域においてどのようなボランティア活動を行っているか。 ② 今後高齢化が進む中で、中学生と高齢者との交流の場を増やす計画はあるか。	3 月 5 日
16 人目	9 番	<b>山 崎 陽 一</b> (60 分)	<b>1. 区画整理撤回要求 第 28 弾</b> (1) 区画整理事業の見直しはいつか ① 換地設計決定が事業のスタートとの答弁があった。その意味を問う。 ② 事業計画変更の今後の行程を聞く。 ③ 工事全体計画とは何か。 ④ 建物移転計画とは何か。 ⑤ 6150 万円かけ工事全体計画、建物移転計画を策定した。これをどのように使うのか。 ⑥ 工事全体計画、建物移転計画を基に事業実施計画を積み上げると事業費、事業期間など全体像が明らかになる。27 年度に示すとのことだがそれが事業見直しの時か。 ⑦ 26 年度実施計画で仮換地指定、移転実施計画策定とある。これは何か。 ⑧ 27 年度、28 年度、仮換地指定、移転実施計画に基づく街路等整備工事・移転補償とある。これは何か。 ⑨ 27、28 年度事業費が不明だ。事業計画変更案では 39 億円、73 億円となっているが。 ⑩ 26 年度予算で人件費が約 2 割、1000 万円増加は理解できない。なぜか。 ⑪ 仮に事業が進めばさらに人件費は増加するのか。	3 月 5 日